

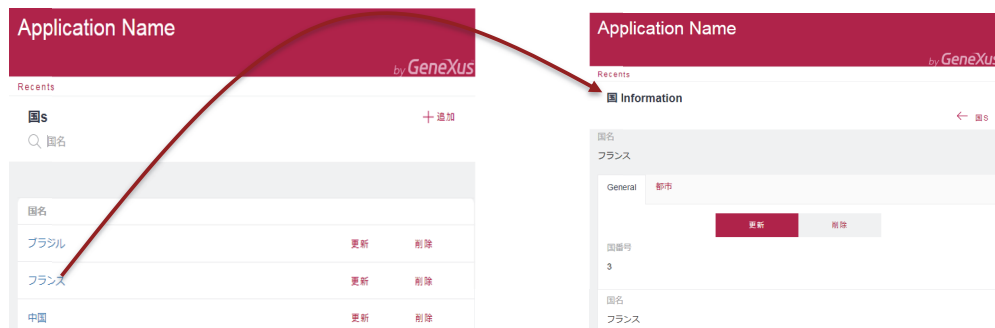
ノンプログラミングによる 機能追加 パターンの適用

GeneXus™

パターンの使用により、新機能を非常に簡単に追加してアプリケーションを拡張できます。

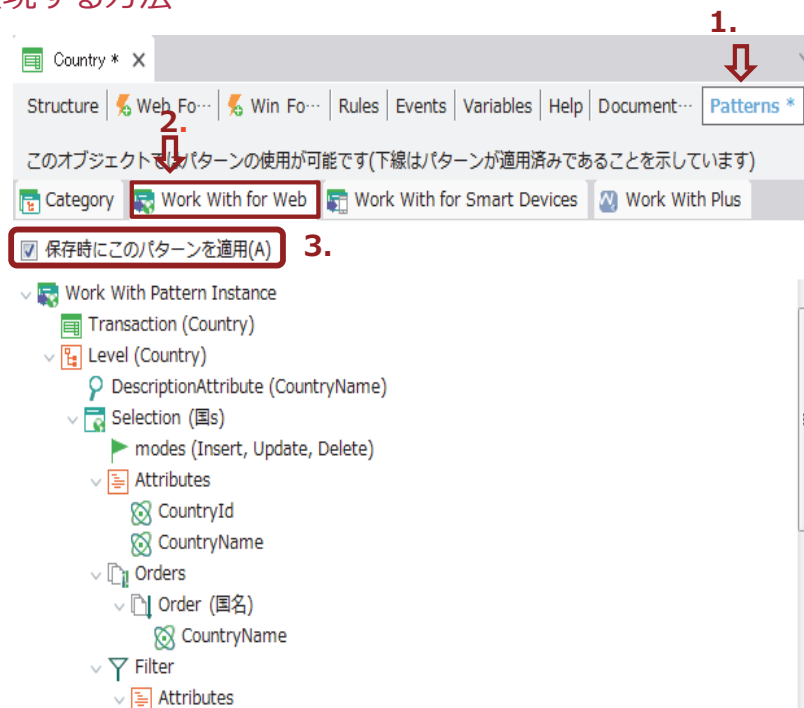
パターンを適用すると、その機能に必要なオブジェクトがすべて GeneXus によって作成されるので、プログラミングの必要がありません。

Work With for Web パターン



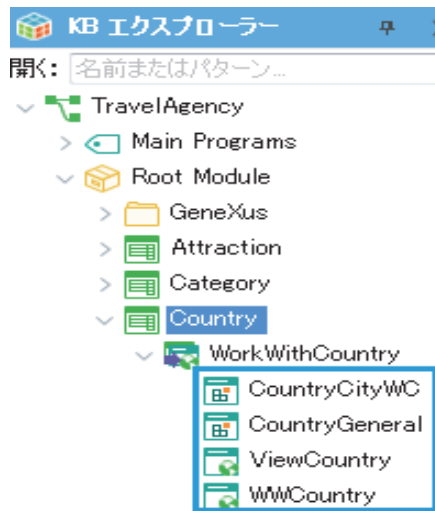
この図のような機能をアプリケーションに加えるとします。簡単に実現できるように、GeneXus には「Work With」というパターンが用意されています。この例では、このパターンを Country トランザクションに適用します。

機能を実現する方法



Country トランザクションで、最初に [Patterns] エレメントを選択し、[Work With for Web] のタブを選択して、[保存時にこのパターンを適用] をクリックしてから保存します。

テストの準備完了



- GeneXus で定義
- 実行 (F5) してテスト

GeneXus が自動で生成



以上の内容を保存したら (Work With パターンを Country トランザクションに適用するだけ)、GeneXus によって、図で強調表示されているオブジェクト、つまり必要な機能を実装するオブジェクトがすべて作成されます。

観光名所も同様

- Attraction トランザクション:



オブジェクトを保存すると (Work With パターンが Country トランザクションに適用されているため)、画像で強調表示されていたすべてのオブジェクトが GeneXus で作成されました。これらのオブジェクトにより、目的の機能が実装されます。

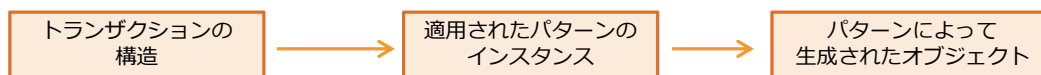
GeneXus が自動生成した内容の変更要求

- 「Work With Attraction」における操作:
 - i. 国コードと都市コードをグリッドから削除
 - ii. 国名のフィルタを追加
 - iii. 実行時にソート順のオプション提供:
 - 1. 観光名所名または国名

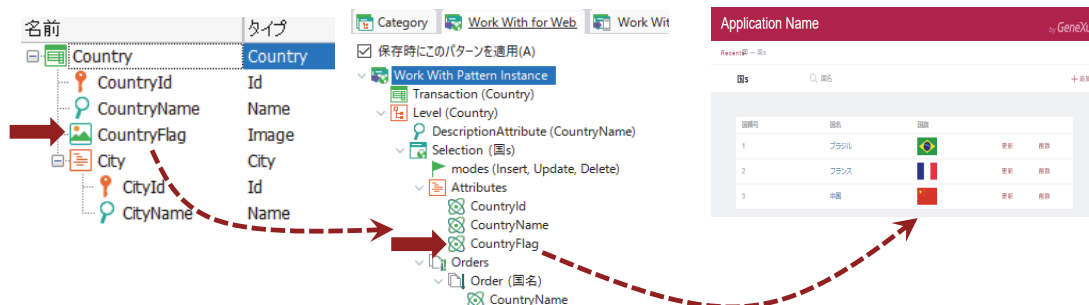
実際に操作を実行して確認



動性 (構造と生成オブジェクト間の自動同期) の維持



例: 新しい項目属性 CountryFlag



トランザクションに Work With パターンを適用すると、トランザクションの構造、適用されたパターンのインスタンス、および生成されたオブジェクトの間に、「動性」(同期) が確立されます。

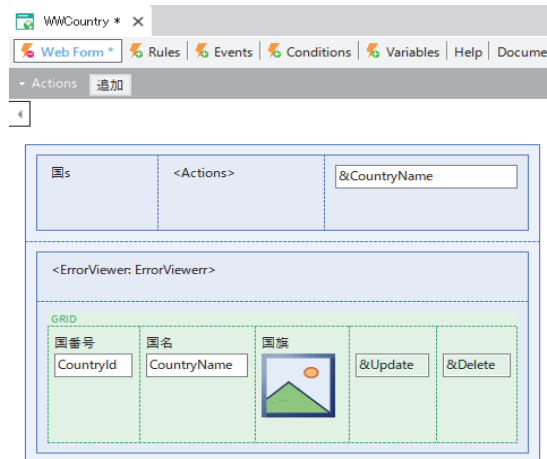
これにより、トランザクションの構造に新しい項目属性を追加した場合、適用されたパターンのインスタンスで自動的にその項目属性を確認でき、パターンによって生成されたオブジェクトにも自動的に追加されます。そのため、アプリケーションの実行時にその項目属性を確認できます。

同様に、トランザクションの構造から項目属性を削除した場合、その項目属性は適用されたパターンのインスタンスから自動的に削除され、生成された GeneXus オブジェクトからも削除されます。

動性 (構造と生成オブジェクト間の自動同期) の維持

動性が失われることはあるか

生成されたオブジェクトの編集時に**失われる**



回復は可能か

編集メニューで**回復可能**



たとえば、WWCountry Web パネル (Work With パターンを Country トランザクションに適用すると自動的に生成される) を開き、そのフォームを編集 (コントロールの追加や何らかの変更など) すると、インスタンスと生成されたオブジェクトとの間の動性が失われます。

そのため、パターンのインスタンスに後で行った定義は WWCountry 画面に適用されないため、手動による定義が必要になります。

失われた動性を回復することは可能でしょうか。
可能です。

全般設定

インスタンスの初期化

設定

- TravelAgency
 - TravelAgency
 - .Net Environment
 - ジェネレーター
 - データストア
 - チーム開発
 - パターン
 - Category
 - Work With for Smart Devices
 - Work With for Web
 - ワークフロー

フルバージョンのみ

Country...

WorkWith X

Pattern Settings

- WW Configuration
 - Template
 - Objects
 - Theme
 - Labels
 - Grid
 - MasterPages
- Standard Actions
 - Insert
 - Update
 - Delete
 - Display
 - Export
 - Search
- Context
- Security
- Parameters
 - プロパティ
 - フィルタ

modes: Ins: default, Upd: default, I	
Insert	default
Update	default
Delete	default
Display	default
Export	default

[設定] の [パターン] ノードで、各パターンの既定のプロパティ値を確認できます。これらの既定値を使用して、インスタンスの作成時にプロパティが初期化されます。

インスタンスの一部のプロパティについて、<default> の値を表示できるのはこのためです。つまり、この一部のプロパティでは、パターン全体の設定から既定値を継承しています。

プロパティの値は、特定のインスタンスで局地的に変更するか、この設定で全体的に変更できます。

全般設定

特定のインスタンスまたは全般設定でのプロパティの変更

例: 国の入力を許可しない (インスタンス内)

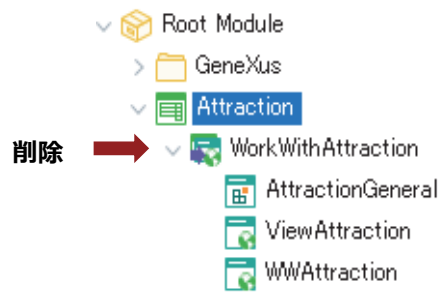
The screenshot shows the 'Work With for Web' pattern instance configuration. The 'Insert' mode is set to 'false' in the 'modes' table. The 'Update' mode is set to 'true', 'Delete' to 'false', 'Display' to 'default', and 'Export' to 'default'. The 'Application Name' is 'GeneXus'. Below the table, there is a list of countries with their flags and names.

国番号	国名	国旗	更新	削除
1	ブラジル		更新	削除
2	フランス		更新	削除
3	中国		更新	削除

WWCountry 画面で新しい国を入力できないようにします。

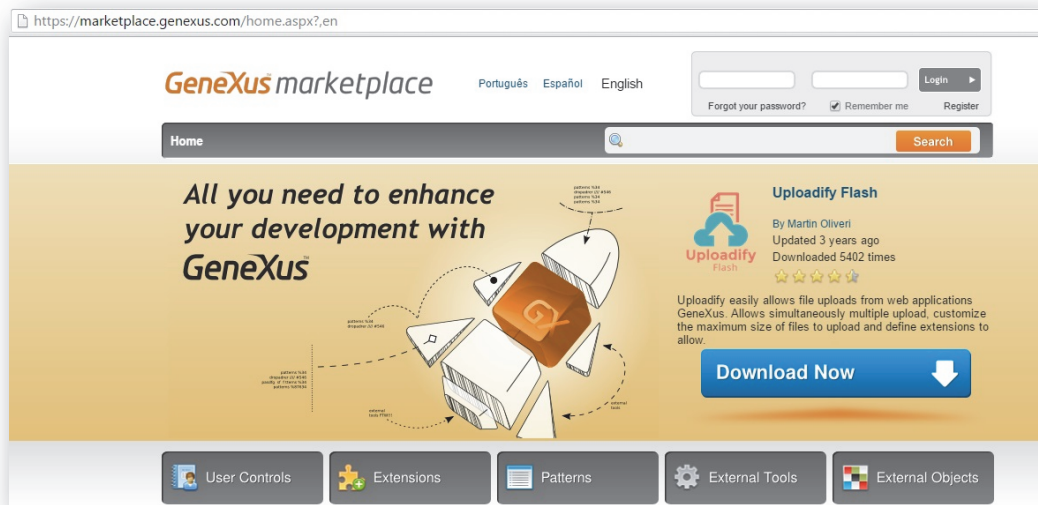
そのためには、Country トランザクションに適用されたパターンのインスタンスを編集する必要があります。トランザクションの実行モードを提供するノードについて、そのプロパティを編集し、「挿入」モードに対応するプロパティで値 [False] を選択します。

パターンの適用の削除



パターンの適用を削除するには、生成されたオブジェクトを KB エクスプローラーのトランザクションの下で削除する必要があります。これにより、[保存時にこのパターンを適用] ボックスが自動的にオフになります (再度適用することも可能です)。

その他のパターン



このほかにも、役立つ機能を実現するパターンがこのページに用意されています。